



低すぎる診療報酬……病院は常時、満員電車でない

経営の指標に「損益分岐点」というものがあります。客数や販売数量などがこの水準を上回れば赤字にはならない分岐点の水準です。病院の損益分岐点の代表的な指標は入院ベッド（病床）の埋まり具合です。損益分岐点になる病床の埋まり具合は約90%とされています。ではこの値が「普通」かと言うと、そんなことはなく、異常に高い値です。

他の産業の損益分岐点を見てみると、例えば賃貸マンション業は約80%、ホテル業は60〜70%と言われています。つまり、持っている部屋の7割ほどが埋まれば赤字にはならないということです。また、鉄道業では乗車率60%が損益分岐点と言われています。一方病院は、診療報酬があまりに低すぎるため、持っている病床の9割方が埋まった状態を維持できない

と赤字になり、経営が行き詰まってしまうのです。

「病床を90%埋めたらいいじゃん」と思われるかもしれませんが。しかし皆さん、4年前の春から夏にかけてのことを思い出してください。新型コロナウイルスの流行がピークを迎え、全国でまったく病床が足らず、救急車の行き先もなくなり、長時間自宅や救急車に留め置かれ、亡くなった方もいました。トリアージと呼んで「命の選別」も起きました。こんな事態に陥ったのも、そもそも病院が普段から病床を満々に埋めておかないと経営が成り立たない、言わば24時間365日、満員電車の状態が求められるためです。

安心して暮らし続けられるために、診療報酬引上げを求める国民署名へ協力を

そんななかで自民、公明、維新の会が病床を11万床減らすとの合意をしました。これは絶対に許

してはいけません。しかし、あまりに低すぎる今の診療報酬のままでは、11万床削減をせざるも地



域から病院がなくなり、必要な入院ができなくなり、地域の方々が安心して暮らせない事態になりかねません。

民医連が呼びかける署名は、こうした事態を引き起こさないための緊急の行動です。地域医療を守り、暮らしの安心を守るために、国民署名への協力をお願いします。（専務理事 森 高志）

会務報告

7月度理事会(概要)

開催日時… 7月24日(木)
午後6時〜8時1分
出席…理事 26名
監事 3名

〈主な内容〉

- ◆報告
・拡大常任理事会、各種委員会概要
・健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ

(理事・監事の改選についてほか)について

8月度理事会(概要)

開催日時… 8月28日(木)
午後6時〜7時33分
出席…理事 26名
監事 3名

〈主な内容〉

- ◆承認事項
・臨時評議員会の開催について
・臨時評議員会の議案

いつでも どこでも 誰もが

安心して医療を受けることができる社会に

国は、全国どこでも住民が医療を受ける権利(受療権)を守る義務があります。受療権は基本的な人権として、国際人権規約や憲法によって保障されています。

国に強く要望

- 医療機関が突然閉鎖し、地域住民の医療に支障が生じることがないように、速やかに必要な対策を講ずる。
- 医療機関が健全な経営を維持できるように、財政上の支援を講ずる。

まちの病院・医療機関をまもるため、国による財政支援を求めよう

25年予算 防衛費 9.5%増、社会保障費 1.5%増、医療費 2.7%増

200床の一般病院でのあてはめ額

いのちと健康をまもるために力をあわせ、地域医療をまもるために医療機関の維持・存続への支援にご協力ください

まちの医療機関がなくなる?

住民のいのちと健康がまもられない

医療団体も警鐘

国は社会保障の給付を削減しています。24年度は、過去最大規模での医療機関の削減、廃業が相次ぎました。

医療機関の事業と経営を支える収入(診療報酬)は連年減少が続いています。物価上昇を反映した診療報酬に改定されれば立ちゆかなくなり、医療団体も声明を発表しています。

医療機関の削減件数推移

2024年度 削減件数 69件

全国で病院閉鎖による医療空白自治体が増加

各地で産産・廃業が相次いでいます。厚生労働省などの統計でも、医療機関の約7割が赤字となっています。都市部でも赤字をかかえ、医師・看護師不足、建物の老朽化など、複合的な要因が重なり相次いで閉鎖や診療休止に追い込まれています。救急医療機関や災害時に地域の患者を受け入れる災害医療の病院なども失われており、危機的状況です。

全日本民医連(全日本民衆医療機関連合会)

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平井と吉野ビル7F
TEL: 03-5842-6451 FAX: 03-5842-6450 E-mail: min-ken@min-ken.jp